

里だより

No.362

令和4年3月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579





しっかり食べて

2班
昼食会



5班 昼食会

スタミナつけます!

	行事予定・ ありがとうございました 編集後記……………7
行事報告……………5	
職員より・医務より……………4	
主任より……………3	
サビ管より……………2	
施設長より……………1	
(ページ)	
三月号もへぐ	



施設長より

コロナ禍において



県内の梅の便りも届き始めた二月中旬、当施設は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の真つただ中です。ご家族・関係機関の皆様には多大なるご心配とご迷惑をおかけしております。また、様々なご支援、励ましのお言葉を賜り誠にありがとうございます。また、寄稿時には最後の感染確認から一週間が経とうとし、最初の感染確認と比べると多少落ち着いてきた感じがします。このまま厳戒態勢を続け、本誌がお手元に届くころには、無事に収束するように努めてまいります。こちらの件については、別途、ご報告申し上げます。

さて、今年度も新型コロナウイルス対策中心に物事がすすんだような気がします。前年度より幾分かは状況が打開された感じはありますが、第一回目、二回目のワクチン接種が無事に終了したかと思えば、蔓延防止等措置の発令と延長。第六波の危機。施設内でも利用者さんが楽しみにされているイベントの企画書には、リスクレベルに応じた企画内容が追加されました。食事イベントも、これまで数人で鉄板や鍋を囲んでいた焼き肉会や鍋会なども感染リスクが上がるため、現在は中止となっています。大きな行事としては、不特定多数と関わる秋の里まつりも二回開催できていません。この他、利用者自治会の分散化、日中生活でのマスク着用、共有スペースの入念な清掃消毒、濃厚接触者疑い、または、感染確認からの緊急体制発動。利用自粛、面会・外出・外泊の中止等々、数えればきりがありません。

利用自粛をお願いすると、経営面にも大きく影響が出てきます。ここ二年は、コロナ禍前と比べると大幅な収入減であることは言うまでもありません。経営・運営しつつ、利用者さんの生活も維持しつつです。これについては、どちらの福祉施設も頭を悩ませていることと思います。特に生活の質を落とさないようにと日々奮闘されているのではないのでしょうか。

そのような中、三〇周年の節目を迎えるにあたり、八月の開園記念祭に合わせて、祝賀行事を執り行い、スタッフもアイデアを出し、DVD作成や豪華な食事、記念撮影、記念曲作曲など、想い出に残るイベントができました。また、大変遅くなりましたが、三〇周年記念誌の発刊にもこぎつけました。本来であれば、玉稿を賜りました皆様をはじめ、利用者ご家族、関係機関の方々に手渡しでお届けすべきところでしたが、コロナ禍においては、発送させていただいたことをご容赦くださいますようお願い申し上げます。

今回の記念誌は、これまでの記念誌同様、利用者さんが楽しめるように写真を中心に作成しました。担当者曰く、「日中の班ごとの写真を取り入れ、これまでのあゆみを詰め込んだが、もつと載せたい写真があった」とのことでした。利用者さんによつては空いた時間にたびたび記念誌を見返される方もいらっしゃるのです。コロナ禍の閉塞した時間のちよつとした癒しになっていれば幸いです。

令和三年度も残すところあとひと月。まずは、コロナ騒動を収束させ、きちんとご報告並びに、今年度のお礼が出来るようにしたいと思えます。

施設長 松永一博

サビ管より

事業所内におけるコロナウイルスの感染確認により、ご家族をはじめ皆様方には大変ご心配をおかけすることとなり、誠に申し訳ございません。現在も対応の真つただ中にあり、これ以上感染者を増やさないよう、感染のリスクを排除していくことを徹底している所です。一日も早く、終息のご報告ができるように努めて参ります。

先日、ご利用者（N氏）の居室を訪ねた際、私とN氏が写った写真を目にしました。写真にはN氏をはじめ他三名の方と私が写っており、入職して最初に担当させていただいたご利用者との写真で大変懐かしく思いながら、当時と今を照らし合わせました。

入職した当時、私は農業班に配置されましたので、担当のご利用者も農業班の所属でした。その名の通り、野菜作りや外の環境整備を中心に活動する班で、班員十数名、全員が体は丈夫で体力自慢といった方々でした。

中でもN氏はリーダー的な存在で、多くの仕事を担っていただきました。少タイライラしがちな面があり、上手くいかないことや嫌なことがあると、他者とのトラブルになりがちでした。体つきから見ても力強く、威勢がよかったこともあり、日々ご本人の言動と他のご利用者との接点を注視していました。そんなN氏ですが、一方では面倒見がよく、特に自分より若いご利用者には、穏やかに接していることも多く目にしていました。当時二十代で何もわかっていない私にも息子のように温かく接してくれました。

ご両親との面談で、『自分が年が上だけんね。自分の息子と同じとばい。しっかりとよくしてやらなん』と言って聞かせてます』と、ことあるごとに言われていたのを思い出します。すぐにイライラしてしまうご本人の性格も十分理解されており、人に対して優しくあってもらいたいと切に願っておられました。

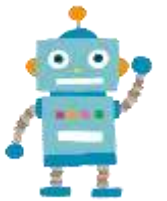
当時から二十数年が経過し、ご両親は他界され、N氏も七十四歳となりました。農作業に取り組み、運動会やスポーツ大会では必死になって走っておられた姿とは程遠く、今は腰も曲がり、歩行も不安定で補助具を使用されています。人から介助されることを好まれる性格ではありませんが、入浴介助や歩行介助が必須となってしまうました。段差をまたいだり、服を整えたりすることすら上手く出来なくなり、手を差し伸べることに「ごめん」と言われます。言葉からすると、申し訳ないという気持ちであるように聞こえますが、私は「ありがとう」と言われているように感じています。人に優しくあつてほしいと願われていたご両親の想いはしっかり伝わっていると思います。

現在でも「髪を切ってくれ」「爪を切ってくれ」等、昔からよくしていたことは頼まれます。それも意味、信頼していただいているのかなと思ひ、今になつても嬉しく感じます。これまでのことを忘れず、これから先のN氏にもしっかりと寄り添っていきたいと思います。



支援課長 今田 有哉

主任より



二年前の二月号で「普段と変わらないということ」と題し、作業棟から、新築された学習訓練棟への引っ越し、環境整備についてお伝えしましたが、現在の学習訓練棟は、コロナ陽性者と濃厚接触者となり、きつい思いをされている利用者さんが療養する空間へと環境は一変しています。

感染予防対策として、自室での生活が長くなっている他の利用者さんに対しても心苦しく思います。せめて生活空間で不快さを感じることはないよう掃除や消毒を徹底し、また入浴時間くらいはゆっくり出来るようにと思っています。

さて、私は数年前から福祉新聞を購読しています。週刊で高齢者や障害者、保育など社会福祉全般の記事が掲載されますが、二月の記事で目に留まったのは、一週目は「濃厚接触でも勤務可（沖繩の介護職、検査で陰性が条件）」、二週目は「濃厚接触者」待機期間五日に短縮」と厚生労働省が示す対応についての記事でした。国だけではなく、入所施設職員の宿泊支援（同居家族からの感染防止／東京都）など地方自治体も独自に支援を開始したり、目まぐるしく対応も変わり、また支援の幅も広がっています。株を変えて進化するコロナウイルスに対し、迅速で柔軟な対応が求められていると感じました。

その福祉新聞からもう一件、「厚生労働省は来年度、介護現場におけるロボットや見守りセンサーなどのテクノロジー導入状況などを把握する実態調査と、テクノロジー活用による業務効率化やケアへの影響などについて具体的なデータを集める検証を行

う」とありました。つくしの里にもいくつかの福祉機器が導入されています。離床センサーは、夜間覚醒から徘徊し転倒などの事故を防ぐために。館内のモニターは、夜間に利用者さんの動きがあった場合に気づくことができ、早く対応がとれます。

慢性的な介護人材不足の中、限られた職員で質を落とさず、また安全にサービスを提供できるよう、このような「ハイテク機器」を活用することで業務の効率化や改善を図る意図があることは十分理解できますが、人員配置基準の見直しとテクノロジーの活用がセットで検討されることのないようお願いしたいと思えます。効率化した業務によって、支援の質に影響がないか、職員の負担がどの程度かなどについて検証されるようですが、職員の負担よりも、なかなか量的に測ることは難しいものかもしれませんが、サービスを受ける方の心情や笑顔、満足、充足感などを考慮して見直しをして欲しいと思います。

現代社会にもたらされた「ハイテク」機器に、私たち人間はかなわない部分があります。ハイテクな機器には備わっていない「ローテク」な部分、例えば利用者さんとの何気ないやりとりや気持ちの支援、寄り添うことなどについて、私は「ハイテク」を目指したいと思います。

最後に、昨年末、門松作りあたり、施設の伝統や想いなど、ほんの一部かもしれませんが学ぶことが出来ました。「古きを重んじ新しきを知る」古き良きことを大切にしながら、そこから新しい知識や道理を得ること。未だコロナ禍、少しでも前向きに、明るく、気持ちは若く、元気よくありたいと思います。

主任支援員 長瀬 さくら

職員より



今年度も、新型コロナウイルスの影響を受けて外出が出来ない窮屈な日々が続きました。私が4年間担当したKさんは、食べる事が大好きな方です。毎日の献立を見て班の皆に教えてくれます。七夕のお願い事も「リンゴとバナナが食べたい」と書かれていました。ご自宅に帰省された際は、あんぱんとポッキーを食べてきたことを話してくれました。私も食べる事が大好きなので、外出できるようになったら一緒に美味しい物を食べに行きたいと思います。新型コロナウイルスと、さよなら出来る日が早く来る事を願うばかりです。
(支援員 穴井る)

今年度も残りわずかとなりました。早いもので、つくしの里に入職して5年目を迎えるようとしています。当初、右も左も分からないような状況の中、先輩方に優しく指導して頂いた事を今でも覚えています。5年目にもなると中堅になり、後輩へ指導しなくてはならない立場だとは思いますが、まだ分からない事が多く、先輩職員のようにするにはもっと努力が必要かなと感じている次第です…。

日々接している利用者さんとは、入職当初と比べ、日頃の挨拶や関わり方を通して、信頼関係を築く事が出来始めたと感じます。知的障がいをお持ちの方が多く、今後言葉だけではなく、表情や行動からも相手の思いを汲み取り、信頼関係を深められるよう心がけていきます。コロナ禍ではありますが、利用者さんが安心できる環境づくりや、理解しやすい言葉かけをしていきたいと思っています。
(支援員 松尾り)

つくしの里に就職してから、もうすぐ1年になります。早く一人前にならなければと焦る毎日です。先輩方には本当によく見ていただいているなどと思います。まだまだなところも多くありますが精進していきたいです。

入職当初は、利用者さんに職員として受け入れていただくことに苦労しましたが、今では名前を呼んでくださったり、挨拶すると笑顔で返していただいたり、穏やかに話し掛けてくださったりと、利用者さんとのコミュニケーションを楽しめるようになってきました。日々忙しいことや大変なことも多い中、利用者さんとの交流に癒されています。

コロナ禍で変化の多い状況や業務に戸惑う日々ですが、少しの時間でも利用者さんと関わり、より良い信頼関係を築いていきたいと願っています。また、外出や行事を楽しまれている姿を思い出して、早く新型コロナウイルスが終息して楽しいことがいっぱいできることを祈っています。
(支援員 池崎)

医務より



今年度予定していた健診が11月で終わりました。今年はコロナの影響もあり、毎年受けていた町のがん検診(複合検診)は、大腸がん検診(便潜血検査)のみになりました。今月の里だよりに結果(大腸がん検診・歯科検診・2回目の健診)を同封していますので、ご確認ください。また、ご不明な点などありましたら、いつでもご連絡ください。次年度は、コロナも落ち着き、安心できる状態で検診へ行くことができればよいなと思っています。

2月4日・21日・28日に予定していました3回目の新型コロナワクチン予防接種は延期になっています。今後の日程は、調整後改めてご連絡いたします。
(看護師 松村)

行事報告

※ 1/21 (金) ~2/20 (日) の実施分について報告いたします

★ 生活介護②班食事会【1月25日(火) つくしの里】

新型コロナウイルスの感染防止のため外出は行わず、施設内で新年会を兼ねた「お楽しみ昼食会」を実施しました。当日は、感染対策をしっかりとったうえで、豪華なお弁当を召し上がっていただきました。普段食べられないようなお肉や海鮮を食べて、とてもいい笑顔を見せて下さった利用者さんもおられ、計画して良かったなと感じました。デザートのお菓子やケーキ、ジュースにも満足していただけたようで嬉しかったです。

今後もコロナウイルス流行の中で、感染予防をしながらどのようにしたら利用者さんが楽しめるのかを考え実行していきたいと思っております。(支援員 錦戸)



★ 生活介護⑤班食事会【1月26日(水) つくしの里】

今回は新年会として和歌山県の温泉へ外出する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みて中止とさせていただきます。代わりに、テイクアウト弁当を注文しました。

新年をイメージした手作りランチョンマットを準備し、施設内では食べる機会が少なかった握り寿司の盛り合わせ、またはとんかつ弁当をセレクト。デザートはお菓子の香梅の季節限定商品「ウグイス餅」を食べていただきました。ささやかではありますが、ご馳走のひと時にニコニコしている皆さんの姿を見る事が出来ました。

色々と制限はありますが、何か楽しみを持って過ごして頂ければと思います。しかしながら、やはり利用者さんには温泉に行きたい気持ちもあるようですので、当初計画していた外出を改めて実施できればと思い、心から収束を願います。(支援員 三木)



1月下旬のあれこれ

自粛生活でも、状況を見ながらできること、楽しいこと、色々ありました。

生活介護 1 班は、新年会で絵馬を書いて飾ったあと、デザートを味わいました。
また別の日には、なつかしの福笑いを楽しみました♪



防災訓練



③ 避難開始



② 初期消火



① 出火場所を確認



⑤ 避難完了！



④ 避難中・・・

行事予定



～新型コロナウイルス対策のため予定を変更する場合があります～

☆ 面談・通帳確認 (つくしの里)

期 日：3月7日(月)～25日(金)

内 容：下期経過報告と支援計画原案作成に係る面談をさせていただきます。
日程については別紙文書をご確認ください。

☆ 施設・後見人・家族情報交換会 (大津町文化ホール)

期 日：3月30日(水) 9:30～

内 容：次年度の事業計画等、重要なお知らせをさせていただきます。
お忙しいとは存じますが、是非ご出席ください。



ありがとうございました

今月の掲載分は、
令和四年一月二十一日～
令和四年二月二十日です

【シヨートステイ】

日中一時支援事業のご利用

※受け入れを中止させて頂いています



【寄付・寄贈】

- | | |
|---------------|-----------|
| ・今坂 桂子 様 | ・後藤 弘子 様 |
| ・田代 千恵子 様 | ・前原 透 様 |
| ・光永 順子 様 | ・村山 美奈子 様 |
| ・山口 静美 様 | ・池田 公恵 様 |
| ・坂本 励帆 様 | ・淀姫神社 様 |
| ・三協化研 様 | |
| ・大津アルミ工業 様 | |
| ・(株)アールエスエス 様 | |
| ・つくしの里保護者会 様 | |



誠にありがとうございました。
利用者さんの為に使用させて頂きます。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して、
記事の記載、確認をしておりますが、誤字
脱字等がございましたら何卒ご容赦して
いただきたく存じます。

編集後記

梅の花も見頃を迎え、春の気配が感じられるようになりました。

施設内は、新型コロナウイルス感染の対応に追われ、目まぐるしい日々でしたが、少しずつ落ち着いてきています。

先月号でお知らせした三回目のワクチン接種は見送りとなつてしまい、改めて日程を調整しているところです。決まり次第お知らせいたします(施設でのワクチン接種は入所とグループホームの利用者さんが対象です)。

